

底曳網漁業 公表用実技試験問題（初級）

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着・収納（5分）

① ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。

② 装着物を外し、正しく収納する。

（使用機材） 各自通常使用中の上記装具

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（3分）

① かえる又結び ② もやい結び

（使用機材） 長さ2m、中程度の太さのロープ数本

(2) 網針に網糸を巻く（1分）

現場で使用している網針に2mの網糸を巻く。

（使用機材） 通常使用する網針、2mの網糸

(3) 2枚の網地の縫合（5分）

網針と網糸を使い、網地2枚を20目以上縫合する。

（使用機材） 20目以上の網地、網針、網糸

3. 漁具・漁労機械の操作

※ (1)、(2) のどちらかを選択する。

(1) ワーピングエンドの操作（10分）

ロープ50mをワーピングエンドで巻き上げる。この場合、巻揚げの反対側端に5～10Kg程度の錘（鉛錘、鉄錘、サンドバック或いはプラスチック缶に水を入れたもの等）を取り付けておく。

（使用機材） ロープ50m、ワーピングエンド（キャプスタン、縦ローラー或いは横ローラー）

(2) コッドエンド（袋網）の袋閉じ（チョンマゲ）作業（10分）

コッドエンド（袋網）の袋閉じを行う。

（使用機材） 操業で使用している網のコットエンド部分（網の天井或いは敷部分を開くものでも良いが、ジッパー式は不可。この場合は目合3～5寸の100掛け、長さ1m程度の網地と直径5～10mmのロープ約2mで代用する。）

4. 漁獲物の処理

(1) 漁獲物の選別（2分）

底曳網漁業で獲れる魚の写真20枚を見て、魚種ごとに選別を行う。（試験地により3種類以上の魚種を組み合わせる。）

（使用機材） 上記漁獲物の写真・・・大日本水産会が用意

以上